

石狩早寮カントリークラブ

ケロ社長様  
畑理事長様

早寮よりお世話になっております。

私共は、石狩早寮カントリークラブの会員で競技委員を  
務めております高橋と赤田と申します。

このたびこのように文書を送り致しましたことを  
お詫び申し上げます。

しかしながらクラブと競技委員会と現在起きている  
事の報告と私共の心情を知っていただくべく、この文書  
用意いたしました。

お忙しいことと存じますが、今後の石狩早寮カントリークラブ  
様のご発展とますますのご繁栄には、決して悪い内容では  
ないと思っておりますので、最後までお読みいただけますこと  
を切にお願ひ申し上げます。

具体的な内容を記する前に、先に結論から申し上げます。

私共、高橋と和田は湯浅支配人と田沢競技委員長との肩代り人事を受け止める行為により、競技委員を辞めざるを得なくなりました。

それにより兼任していたエグゼクティブコーチ委員については、支配人と委員長より継続の打診をいただきましたが、両者によるこのままの私共への対応を顧みると両者のために委員の継続の必要はないと判断し、自ら辞めさせていただきますこといたしました。

同時に、ホームコースの異動とクラブ会員の脱会を検討しておりますことをまずご報告申し上げます。

## 今回の騒動と その経緯

10/6 高橋 → 湯浅支配人へ

10/9の 合同委員会において

議題として挙げたかった、高橋・原田の

連名で用意した 提案書を

クラブのメールアドレス宛に送信済で

あることを 電話にて報告した

※ 提案書を同封しておりますので  
ご覧下さい。

10/9 親睦コンパ・合同委員会

コンパのホールアウトが遅くなり、高橋・原田

の連名提案書については話し合われず

11/12に行なわれる合同委員会に

持ち越された

10/26 湯浅支配人 → 高橋へ

① 来年度の各委員会の体制について  
田沢委員長から来年度以降は  
平原会メンバーで競技委員を  
まとめるので、高橋・原田を  
推薦しない

② 引き続きエチケット・フェローズ委員と  
して、新たにハウスグリーン委員と  
しても活躍して欲しい

以上、ふ点を高橋・原田に伝え、  
打診して欲しいと田沢委員長から  
依頼されたと電話にて報告されて

以降は、高橋と原田が各自で湯浅支配人と  
 電話で話をしていますか、  
 話し合いは平行線をたどり、うちがあきません  
 でした。

- ・ 平原会を怒らせるわけにはいかない
- ・ 提案書の正論性は認めている
- ・ 打診している委員を断らず、新しい委員会の  
 委員として活躍してほしい

以上の三点の繰り返して、都合が悪くなると  
 未だに関係のない他委員の話をすまないと  
 話題をすりかえ、その場しのぎの対応に  
 不信感を持ち 閉口致しました。

## 高橋の経緯と意見と思い

平成26年10月ころ、当時の支配人である岡田様と、  
現競技委員長である田沢様より、私へ競技委員を、  
やってみないか? やってみないか? 打診がありました。  
その時のその理由は、競技委員長田沢様からは、「Bクラス  
所属の競技委員が少い為」又、前支配人岡田様からは、  
「競技委員会に新風を吹き込めなくちゃ」とのことでした。  
これらのお声掛けに対し、私はお二人がせっかくお声を  
かけて下さったのに、この機会を逃すと、このようは  
チャンスは二度とほいと思うと同時に、競技委員が果す  
役割や任務に興味があったこと、委員を務めること  
によって、ゴルフ技術の向上はもちろんのこと、ゴルフ知識  
を養い、ルールを覚える絶好の機会だと思い引き、  
受けることにしました。  
委員に就いたその頃は、無我夢中な何も考えませんでした、  
私は、エクスピアC.C.の会員でもあり、月例会他の  
公式戦も出るいしたので、そこで運営方法など  
在来と比較し始めました。

ちょっと度い過ぎる所に気付き、之年度の合同委員会  
の時に、月例会の時のいくつかの提案を本しました。

しかし、その後は、協議の議題にも挙がりませんでした。

そして、そのころから前支配人岡田君のいる「新風」  
の意味がわかってきました。

現在の石狩早稲.C.C.は、早稲会の色が強すぎます。

それ以外の位置と関係は、石狩早稲.C.C.の上に早稲会が  
あり、各委員会は早稲会の配下にはっている。

各委員会の委員は、ほとんどが早稲会の会員である。

その為、第三者が「変だ、おかしい」と思う早稲会の悪い面が  
石狩早稲の公式戦の運営手法に表れ、会員からの苦情を  
多く聞いていますし、それが理由で例会、公式戦に参加  
しない会員が多くいることも把握しています。

その為、声が例会、公式戦の開催回数と共に  
増える一方、そこで石狩早稲.C.C.を更に良くする為、  
このたび競技委員会へ「提案資料」を提出しました。

しかしながら「提案資料」については競技委員会と  
協議を検討される前に、提出者である私達を競技委員  
に推薦せず、更には私達を全員の委員から解任させる  
ことによる自分達の立場が悪くなることを懸念し自己  
保身のため、ほとんどの活動している「エグゼクティブ  
委員会」「ハウス・グリーン委員会」の委員への推薦を打診  
するとは、大手企業を行けわわっているのと同じ「肩たたき  
人事」を私達に行はったという事です。  
このことは、遺憾であり、大変憤慨しております。

平成29年11月1日

高橋英美

8/16

## 原田の経緯

私は3年前(平成27.2015年)から 石狩平原.C.C.を  
ホームコースとして お世話になっております

技術・知識共に未熟な私でしたが、例会・公式戦に  
参加している実績を 湯浅支配人が評価して下さい  
競技委員として例会・公式戦に参加する女性会員数の  
増加の促進: ついては クラブの女性会員の獲得に  
力を貸して欲しいと 高橋委員を通じて打診がありました  
私は迷いまいにか 高橋委員と同様にゴルファーとして  
決して無駄な経験にならないことや 高橋委員のバツ強い  
後押しもあって お引き受けすることに致しました  
しかし、田沢委員長他委員の皆様には私の存在が  
周知されておらず、初めて参加した委員会では  
何故、あの人(私のことです)がここにいるの?と言わんばかりの  
顔色に 今後の私の委員としての不安が頭をよぎりまして  
とは言え、引き受けただけはしっかりやらなくてはならない!  
気持ちと切り替えまいにか、女性委員は私一人のみで

何をどのよりに、どうすれば「良いのかおろす」  
右往左往していたのが「現実でした」。

当然のことながら、その当時から湯浅支配人・田沢委員長  
他委員から声を掛けられることも、手を差しのべられることも  
ありませんでした。

それでも競技委員として籍を置いた2年間には  
女性会員向けアンケート調査の実施、レディース杯の開催  
(2回)、女子ラウンド会(1回)の開催を行ないました。  
いずれも委員会内で唯一の相談相手である高橋委員に  
私の希望や理想を勝手気ままに話し、それを高橋委員が  
形にして下さったお陰で実施・開催に至ったのです。

しかしながら、それらを成し遂げるには湯浅支配人・  
田沢委員長、委員会の壁以外にもゴルフ場スタッフの  
嫌がらせもあり、決してスムーズに事を運べたわけでは  
ありませんでした。

それでも今まで女性会員に対するアプローチを  
してこなかった石狩C.C.にとっては

10/16

これらの実施、開催は大変意味のある出来事であり  
新たな一歩だったと考えています

その結果を委員会で報告しても議論にならず  
女性委員が一人だからという理由で私に「おまかせします」と  
だけ指示し、決議されてしまっていました。

更にはこのような事態になって以降、湯浅支配人から  
高橋委員と私が「単独で勝手に行動していることを  
面白くなく思っている委員がいる、我々が委員会から  
孤立しているなど」と聞かされました

それと聞いた時、先に書いた頭によぎった不安が的中した  
ことに妙に納得した反面、私が委員として携わった  
関係者に対し、この仕打ちに怒りと悲しみでいっぱいです

最後に、競技委員として私を信頼して 会員が私に  
 これまで話して下さい、意見を報告致します  
 併せて、女性会員のアンケート結果も 同封致しますので  
 ご覧下さい。

- ・ 平原、C.C.のメンバーの技術・人間性のレベルがイマイチ  
 だから 例会が面白くない。  
 だから 例会には出ない  
 だから ホームコースは別々にしている。
- ・ 練習コースとして割り切っている
- ・ 例会、公武単戦の1番ホールで "ティーグラウンド"を  
 後続組が 取り囲むなんて考えられない  
 他コースでは ありえない  
 プライベートコンパと甚か違いしているのでは…?
- ・ ゴルフ場も (湯浅支配人を含む) 悪いけど  
 田沢委員長の指導力のなさ と 委員長としての質が  
 悪いから ルールが まちまちで 混乱を招いている。
- ・ 朝月の受付時に ルールを 張り出す、ルール用紙を  
 一人一人に 配布すべき
- ・ 清藤氏の、本人の好き嫌いによって 客に対する態度が  
 異なることは 客高売として 失格である。  
 知人を紹介できない、連れて来られない
- ・ 社長と室長はこの実態を把握しているのか!?  
 皆、言ってるよ… 評判悪いよ… 社長と室長…

12/16

平成29年11月1日

原田真由美

13/16

## 湯浅支配人の対応について

- ・ケウロ社長から「マシヤバるは！」と書かれている
- ・現在は競技委員会 = 早稲会と言っている。今回の高橋・原田が言う「肩たたき人事」も田沢競技委員長の意向にしたがうしかない。
- ・早稲会を怒らせられない。  
競技会等の運営から早稲会が撤退されると、石狩早稲カントリークラブ自体の運営に支障をきたすことを心配している。
- ・今回の提出した提案資料については自分も同意しているが、競技委員長、早稲会に対して何とも書けない。正論を言っている我々の奮闘を押し返すことが本来はいい。競技委員長田沢様の「肩たたき人事」を擁護し、それを押し返す
- ・我々ふたりを筆名でいいさし活動のほかに、「エグゼクティブ・フォローアップ委員会」「ハウスグリーン委員会」での活躍してほしいと打診をする。

その両委員会と委員長も最近までは、名前だけの、特に活動して来たわけでは無い。

我々がその両委員会に入った場合、委員長と部下1名の  
それぞれ2名の委員会をひらき出来るのでしょうか。

競技委員会、ハンディキャップ委員会、そのふたつの会と  
同じレベルで同等のテーブルにつけるのでしょうか。

また、そのふたつの委員会へ要望・意見を伝えると  
いうが、それに対する対応が疑問である。

以上、我々高崎原田の経緯と意見等を  
のべてお返しにいたしました。

最後まで、目を回していただき厚く御礼申し上げます。

今後の石狩平泉カントリークラブにお役に立てれば  
幸いです。

ありがとうございます。

平成29年11月1日

高崎英美

原田真由美

## その他 追記

ハンディキャップについて どのようにお考えでしょうか？

また WD (= with drawn) というハンディキャップに関する用語をご存知でしょうか？

平原では月例、公式戦における J-sys へのスコア入力は清藤氏が責任者となって報告されています

原田についてはプレイ日を変更し登録し直して正しいハンディキャップを取得できました

しかし高橋はアマチュアゴルファーの汚点となり得る WD が付きました

この WD は訂正、修正が出来ず、J-sys の記録に一生残ります

ちなみに WD は競技においては棄権を意味しますが、ハンディキャップにおいては、この WD は見る人が見ると「不正をしたから」と受けとめる確率が一番高い理由になるそうです

もちろん高橋は不正を行っておりません

それどころか、プロの指導を受け、その予習復習のために  
平日の晩は自己練習をし、週末は実践練習のために  
コースに通い、貪欲に、そして真摯にゴルフに向き合っ  
ています

その後の調査によると、通常のスコア入力画面は  
このWDを誤って付けられるような状態になっていません  
コンピュータのロック解除や複数の操作を経なければ  
このWDを付けられないのです

もちろんこの作業はクラブコース側とハンディキャップ委員会  
でしか行なえず、故意に「行なおうと思わなければ」、  
通常ではWDが「付くことはないこと」がわかりました  
また J-sys の取扱説明書にも WD の問い合わせ先は  
上記のクラブコース側ハンディキャップ委員会にすま  
り記載されています

この件が発覚した際、ハンディキャップ委員長である  
吉岡氏に確認したところ、この事実を知らなかった  
ようです。

WCDを付けたという事実が「一番の問題ですが」、  
 平原C.C.が「この事実をハンディキャップ委員長に報告をせず  
 隠すという卑怯な行為とすぎんな管理体制も  
 問題です」

更には、これらの一連の作業を行ない、クラブコース側の  
 ハンディキャップの責任者である清藤氏を戒めるところの  
 反対に擁護する湯浅支配人のクラブコースの現場  
 責任者としての資質を疑います

今回の事態「騒動」と言い、このハンディキャップの件に  
 おいても 高橋・原田が絡んでいます

これは憶測になってしまいますが、偶然なのかかもしれ  
 ませんが、「私達への悪意」を感じます

